

【国語・小5・「日常を十七音で」①】

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 (1) オ
(思、判、表等) ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。 Bオ
・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 Bカ
(学びに向かう力等) ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを理解して、思いや考えを伝え合おうとする。

ICT活用のポイント

提出する時間を短縮できる点 児童や教師が考えを共有しやすくなる点 児童同士のよいところが気付きやすくなる点

【つかむ】

・俳句作りに興味をもち、単元の課題を確認する。

表現を工夫して俳句を作り、お互いのよい点や工夫点を伝え合おう。

【追究する】

・自分の表現したいことを俳句にする。
・俳句を共有し、お互いのよさや工夫した点を見付け、自分の俳句に生かす。

【まとめる】

俳句を全員で鑑賞し合う。

事例の概要

○教科書の例を参考に俳句の基本を理解し、自分の思いを俳句にして読み合う。
共有する際に、比喻や語順、文字の書き表し方等に注目させ、お互いの俳句のよさや工夫した点を確認し、自分の俳句を見直す際の参考にする。

【事例におけるICT活用の場面①】

○児童一人一人の思いを俳句にする際に、データ化した共通のワークシートにまとめることで、俳句を作る際の参考にするとともに、提出する際の時間短縮を図る。

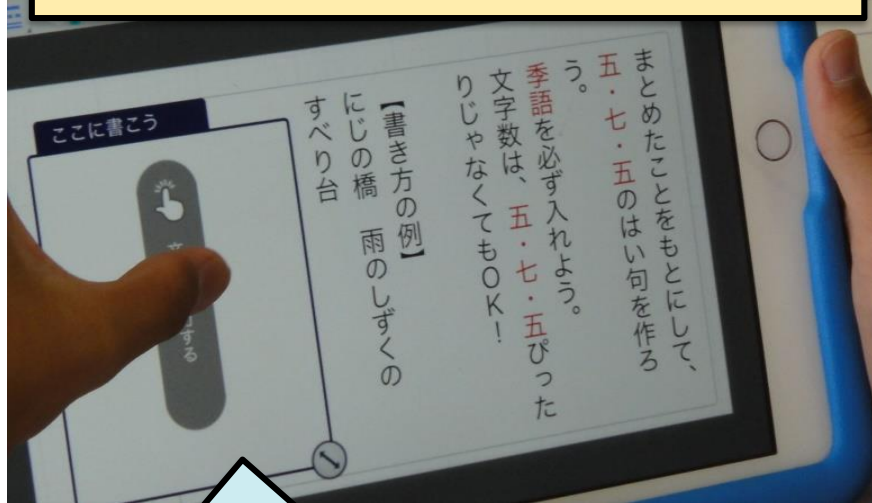
【事例におけるICT活用の場面②】

○俳句を共有する場面で、ICT端末を使い、データを提出し、一覧表示することで、お互いの俳句のよさや工夫した点を比較・検討しやすくする。

【国語・小5・「日常を十七音で」②】

【事例におけるICT活用場面①】

自分の思いを俳句にしてワークシートに書きましょう。

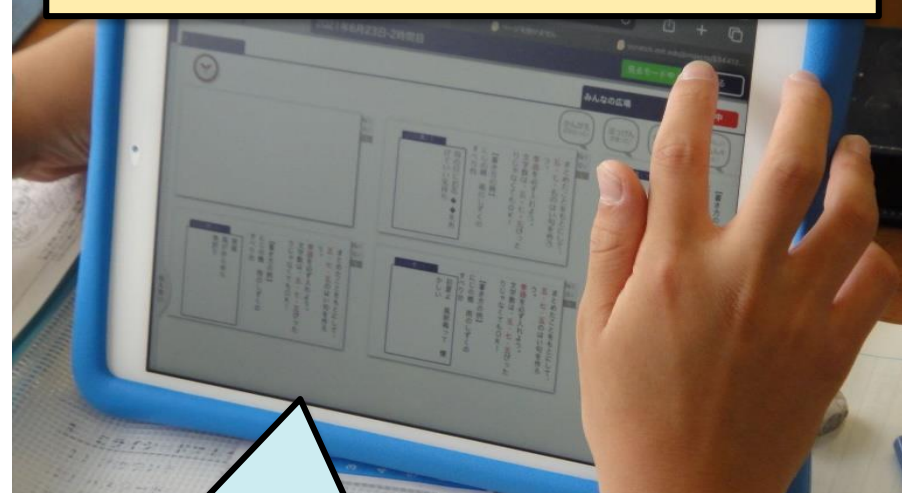


どんな点に注意して俳句を作ればよいのかわかるぞ。
自分の思いを俳句にしてみんなに伝えよう！

自分の思いを俳句に表現する際、注意点等が書いてあるデータ化したワークシートを使用することで、俳句を作る際の参考にしたり、ワークシートを提出する際の時間短縮になったりした。

【事例におけるICT活用場面②】

ワークシートを提出して、みんなの俳句のよい点や工夫した点を探しましょう。



みんなは、どんな思いを俳句にしたのかな？
〇〇さんの「～」という表現がいいな。その時の気持ちがよく伝わってくるぞ。

一人一人の俳句を共有する際に、ICT端末を使ったことで、教師が児童の俳句のよさや表現の工夫を把握しやすくなった。また、児童もよさや工夫点を比較・検討しやすくなり、俳句を見直す際の参考にしやすくなった。

【活用したソフトや機能】・学習支援ソフト（データの提出・受信・一覧表示）